

～第4種踏切において発生した、列車と歩行者との衝突による死亡事故～

鉄道事業者名：東海旅客鉄道株式会社

事故種類：踏切障害事故

発生日時：平成30年10月3日 16時10分ごろ

発生場所：長野県飯田市

飯田線 <sup>もとぜんこうじ</sup>元善光寺駅～<sup>いなかみさと</sup>伊那上郷駅間（単線）

<sup>みやまえ</sup>宮前踏切道（第4種踏切道：遮断機及び警報機なし）

豊橋駅起点133k499m付近

## <概要>

駒ヶ根駅発豊橋駅行き上り第562M列車が、元善光寺駅～伊那上郷駅間を速度約53km/hで走行中、同列車の運転士は、宮前踏切道に進入してきた歩行者を認め、非常ブレーキを使用し気笛を吹鳴し続けたが、同列車は同歩行者と衝突した。

この事故により、同歩行者が死亡した。なお、同歩行者は視力・聴力に問題はなかったが、精神的に不安定な状態であり、病院に入院中であった。



## <原因>

- ・本事故は、踏切遮断機及び踏切警報機が設けられていない第4種踏切道である宮前踏切道に列車が接近している状況において、歩行者が同踏切道内に進入したため、列車と衝突したことにより発生したものと認められる。
- ・列車が接近している状況において歩行者が同踏切道内に進入した理由については、歩行者が死亡していることから、明らかにすることはできなかった。

## <事故後に講じられた措置>

- ・宮前踏切道は、隣接する座光寺踏切道を拡幅して歩道を設置する工事に合わせて、平成31年2月4日より通行止めとなっており、同年6月末に廃止予定である。

詳細は、運輸安全委員会ホームページ (<http://www.mlit.go.jp/jtsb>) より、鉄道事故調査報告書をご覧ください。